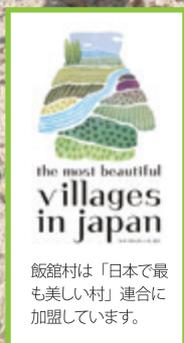


広報 
No.687
令和3年

いいたて

5
2021



www.vill.iitate.fukushima.jp

今月の話題
vol.13



応永13年（1406年）に真野と山中の両郷を領した岩松藏人義政。所領は没後、家臣の反逆により相馬家のものとなり、混乱の中、身ごもっていた姫君が大倉に逃れ、現在の「姫ヶ崎」で出産しましたが、母子ともに死去しました。悲劇を悼みこの姫が持っていた岩松家の持仏・十六善神の4柱を祭ったのが大倉山津見神社の始まりとされています。その後火事で焼失し現存する4柱は火事以降のものと伝わります。義政が鳥浜から下海老に上陸したという故事に因み、その地に「お下がり」を行っています。
(参考：大倉部落史／相馬家資料及び口伝による)



浜に下りて神事を行う歴史ある祭礼です

4月18日、大倉山津見神社で春の神事が行われました

地域が守り伝える「お浜下り」の伝統

はまくだ

※「おはまおり」とも呼ばれます

浜通り11市町村に伝わる祭礼「浜通りのお浜下り」は昨年「記録すべき国無形民俗文化財」に選定され、今後詳しい調査が進められることになっています。村の「お浜下り」はかつて三社で行われていましたが、現在も続くのは大倉地区のみです。大倉地区の皆さんは、原発事故の前年まで、毎年、大倉山津見神社から、南相馬市鹿島区の海老浜まで神輿を運ぶ「お浜下り」を行ってきました。近年は一部の区間以外は神輿を軽トラックに乗せて下っていたそうです。道中では決まった場所で神様を休ませ、太鼓をたたき、短い神楽を踊ります。浜で神事を行った後は、鹿島御子（みこ）神社を経て一泊し、翌日大倉に戻ります。震災後は「お下がり」を休止し神事のみを継続。復活を模索する中、新型コロナの影響を受け、今年も神社での祭礼となりました。その中でも神社には多くの人が集い、「お下がり」の話題になると思ひ出話に花が咲きました。



海老浜で神を海水に浸し神輿に振りかけます。写真は昭和期の資料。「懐かしいなあ」の声が上がりました。真野ダム建設前は120戸あり3班に分かれて当番制で「お下がり」を行っていたそう。

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「大倉地区のお浜下り」
- 4 特集「飯館村ライスセンター」
- 6 飯館百景「いいたて春爛漫」
- 8 お知らせ「行政区長・副区長会議」ほか
- 9 お知らせ「村の新しい顔」
- 10 学びの広場「入学式・入園式」
- 12 いいたて便り
- 14 話題のパレット
- 15 そのころはっ／ふれ愛館だより
- 16 おしらせのページ
- 17 入札結果
- 18 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 19 ふるさと資源／ひとのうごき
- 20 わくわくNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙
4月20日、佐須地区にオープンした観光農園「チューリップ・花農園」。ふくしま未来研究会、ホクショー、地域創造研究所が共同で取り組む「飯館村農地再生フラワーガーデンプロジェクト」の一環。46種類・約25万本のチューリップが一面に広がります。開園は5月9日までで期間内は無休。午前10時から午後4時まで入園できます。村外からも多くの方が訪れていました。問い合わせはホクショー-飯館事務所 ☎0244-26-6244) まで。

つないできた祭礼を大切に伝えていきたい

地区の皆さんが協力して、「お浜下り」は続いてきました。震災後は浜の方の津波被害とその悲しみを思い、「お下がり」を見合わせ、神事だけが続けられました。また昨年と今年は新型コロナの影響で実施ができませんでしたが、コロナ禍が収まれば、浜の方の様子も見ながら、「お下がり」も再開できればと考えています。若い人へどう伝えていくか、つないでいくかが課題ですね。



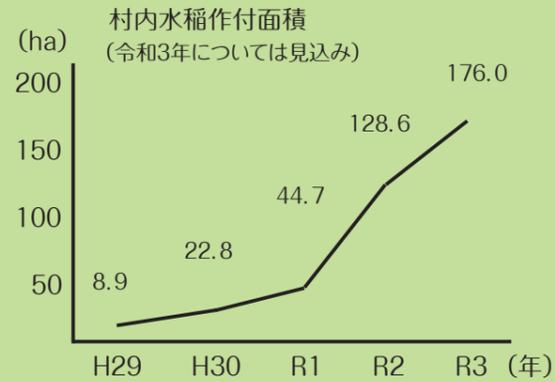
郡之雄 さん（大倉）
伝承によれば姫君の供をした桑折忠左衛門の子孫が改名し郡家になったと言われています。代々総代を務めています。



お礼と手作りの花は「お下がり」の道中、各地の人々にも分けられ、そこで受け取る「お下がり物」が宿代になりました。翌日戻ると、持ち寄ったご馳走を食べ、地元の人もお礼と花を持ち帰ります。今年の祭礼では串に刺した白い団子が振る舞われ、地区の方から「食べるど風邪をひかないと言ふんだよ」と教えていただきました。

水田農業の再生に向けて

東日本大震災の前年、平成22年の村の水稲作付面積は約693haでした。平成23年春に原発事故の影響で作付けができなくなりましたが、平成24年からは、除染後の営農再開に向けて、国・県の実証事業に村民と共に取り組みました。避難指示が一部を除き解除された平成29年からは作付けを再開。年々その面積が増加しています。現在、農地中間管理事業などを通して農地の集積が進められていて、ホールクローブサイレージ(WCS)や飼料用米の作付けも伸びています。



品目	面積 (ha)
主食用	57.7ha
WCS	48.8ha
飼料用	69.1ha
酒米	0.4ha
合計	176.0ha

〈施設概要〉

飯舘村ライスセンター(自動ラック式低温倉庫を含む)

鉄骨造2階建て
 建築面積1,993㎡ 延床面積2,941㎡
 事業主体 飯舘村
 運営主体 JAふくしま未来
 本体工事費 約17億円(うち再生加速化交付金約13億円)
 総処理量 1万6,000俵(水稲作付面積200ha)



荷受け設備/貯留乾燥設備/乾燥設備/糶摺調整設備/計量出荷設備/自主検査設備/自動ラック式低温倉庫

稲作農家の声



高橋 松一 さん
(二枚橋・須萱)

「おいしい」の声がやっぱりうれしいね

5年目の今年は約8haに作付け予定。食用米は2.5haでそのうち0.33haはもち米。残りの5.5haではWCS用の米を栽培します。「道の駅では直売所での販売の他レストランでも使用されています。おいしいと言われるとやっぱりうれしいね」。



青田 豊実 さん
(前田)

集落営農で地域を守り次の世代につなぎたい

地域の農地を集積し、集落営農を行っています。米づくりは昨年の約15haから21haに。そのうち食用米は約7haで残りは飼料用米を作ります。「一緒に取り組む人と楽しみつつ、地域を守り、次の人達につないでいきたいですね」。

黄金色の稲穂が一面に揺れる 飯舘村の秋景色を取り戻したい



川井 智洋 さん
JAふくしま未来 飯舘営農センター長

震災前は村内に5つのライスセンターがあり、そのうち2つがJAの施設でした。震災後はそれぞれ老朽化が進み使用ができなかったため、JAで集荷した分は南相馬市の施設へ運んでいました。個人で、機械を持つ方の所に依頼し収穫後の処理を行っていた方も、それぞれの収量が増加するに従い処理が追いつかなくなるのではと懸念されていました。完成した施設を、ぜひ活用していただきたいと思います。秋になれば村一面に黄金色の稲田が広がる—その景色をまた見たいですね。



水田農業の新たな拠点が完成 飯舘村ライスセンター



自動ラック式低温倉庫。1tの米袋を自動収容します



署名した協定書を手を。杉岡村長(左)と数又組合長

完成引渡式を行いました

「飯舘村ライスセンター」と併設の「自動ラック式低温倉庫」が完成し、4月15日、村とJAふくしま未来が、完成引渡式を行いました。

施設内で行われた式には、関係者と来賓が出席。杉岡村長とJAふくしま未来の数又清市代表理事組合長が、電動シャッターのボタンを押し、列席者に施設が公開されました。また、協定書に署名を交わし、村の基幹産業である農業の復興・振興等に向け、強力に連携を図ることを確認しました。

このライスセンターは、米の乾燥・

「この新施設は、農地の集積や基盤整備が進む村内で、水田農業の中核となる施設として、今後の活用が期待されます。」

式のあいさつで、杉岡村長は、「ふるさとの担い手と共に進んでいきたい」と農業振興への思いを語り、数又組合長は、「末永く村と力を合わせていきたい」と協定への期待を述べました。

糶摺・選別・計量等に使用する大型機器を備え、自動ラック式低温倉庫は、4基のクレーン等を使って米の袋を自動で倉庫内の棚(ラック)に収容することができます。

飯舘 百景

いいたて春爛漫



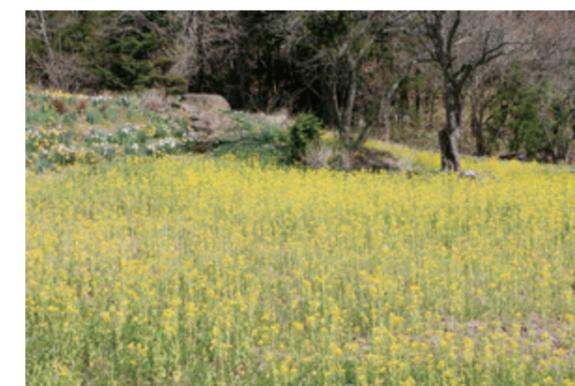
白い花がやさしく風に揺れる
「飯舘復興の桜」の並木



「村民の森あいの沢」のミズバショウ



はやま湖に映える「大倉の桜」



村内各所に菜の花畑。写真は三坂光一さん（白石）宅

2月、3月の暖かな陽気が季節を後押し。桜前線が、記録的な早さで日本列島を北上し、4月を迎える頃には、村内でも春の花が一気に咲き進みました。

會田征男さん・ツタ枝さん夫婦（伊丹沢）が自宅周りに植えた約3000本の桜「飯舘復興の桜」も、4月中旬には満開を迎えました。新型コロナウイルスの影響で「さくらまつり」は2年連続見

送られましたが、桜が咲くと多くの人が連れ立って、この桜に会いにやってきました。震災後、全国各地からボランティアで桜の手入れに来てくれた人たちは、2人を「じいじ、ばあば」と呼んで慕い、自分の実家のように今も訪ねて来るそうです。

また、はやま湖畔の「大倉の桜」や大雷神社の桜並木も、それぞれの地域に春を告げました。明るい黄色の水仙、鮮やかなレンギョウ、ピンクの濃淡が美しいモモの花など、家々の庭も春に彩られ、山あいのせせらぎには、ミズバショウも数多く咲いていました。

その後は寒の戻りもあり、満開の桜に雪が降り掛かった日も。飯舘の春は、表情豊かに過ぎていきました。



趣味
旅行

好きな食べ物
焼きいも

復興庁から出向
総務課総務係
東京都出身
こいけ ともひろ
小池 智広

出身地と合わせて自己紹介アンケートのコメントを掲載します。

村の新しい顔

国・福島県・神奈川県からの派遣職員の皆さんと令和3年4月1日から採用となった村任期付職員を紹介します。



趣味
朝早く起きて、静かな所で、料理や読書をする事



飯館村任期付職員
大倉出身
なかいた たみこ
までの里のこども園 中井田 多美子



趣味
ゴルフ

健康の秘訣
あまり悩まないこと

福島県任期付職員
東京都出身
みよし やすゆき
建設課土木係 三好 康之



健康の秘訣
空手道(和道流) 剣術(甲源一刀流)

趣味
ギター

神奈川県任期付職員
山形県出身
かわい かずし
建設課土木係 川井 一司



趣味
鉄ちゃん(鉄道模型を走らせる)

健康の秘訣
ダイエット!

飯館村任期付職員
栃木県出身
こぐれ としかず
しいたて希望の里学園 小暮 俊和



趣味
旅行

健康の秘訣
良くないことは3日で忘れる

飯館村任期付職員
川俣町出身
たかはし ひろみ
健康福祉課健康係 高橋 廣美



趣味
釣り(小型船舶免許所持)、スキー(SAJ1級所持)

好きな食べ物
イカ刺し 麻婆豆腐

飯館村任期付職員
福島市出身
いまい けんじ
建設課農林土木係 今井 賢二



好きな食べ物
馬刺し&お寿司

健康の秘訣
よく寝る よく食べる

飯館村任期付職員
伊丹沢出身
こわた えつこ
住民課住民係 木幡 悦子



趣味
サッカー ドライブ

好きな食べ物
焼肉

飯館村任期付職員
伊丹沢出身
すぎうら よしのり
教育委員会 生涯学習課 杉浦 由憲



趣味
キャンプ(今年はソロキャンプを試してみたいです) 家庭菜園 ガーデニング

飯館村任期付職員
福島市出身
さとう さちこ
までの里のこども園 佐藤 幸子

飯館村行政区長・副区長会議

新年度の取り組みについて、村と行政区が意見を交わしました



交流センター「ふれ愛館」のホールで感染症対策を行いながら会議を行いました。村が事業の説明を行った他、環境省の担当者が長泥地区で行っている環境再生事業や仮置き場返還までの工程について説明しました。

4月12日、交流センター「ふれ愛館」で、令和3年度第1回「飯館村行政区長・副区長会議」が行われました。会議では、新年度事業や新たに始まる補助制度などについて村が説明を行い、区長・副区長からは、質問や要望、提案などが寄せられました。村では、いただいた意見等を活かして、各種施策を進めることとしています。

Pick Up!

新たな取り組み

今年度から始まる新しい取り組みについても説明が行われました。2つの新たな補助制度、コミュニティ担当者の増員についてお知らせします。

- 「みがきあげよう！ふるさと補助金(案)」について●
各行政区の「地域みがきあげ計画」の策定や、計画に沿った取り組みの支援を行う補助制度を創設します。制度の詳細については、各行政区に資料が配付されます。
- 「ふるさとの担い手わくわく補助金(案)」について●
複数行政区をまたいだ多世代の有志の団体などが実施する、地域活性化事業を支援します。公募の受け付け期間や募集要件など、詳細は改めてお知らせします。
- 全職員がコミュニティ担当になります●
今年度から、全職員がコミュニティ担当となり、各行政区に配置されます。新しい補助制度の計画策定や申請についても各担当にご相談ください。

蕨平行政区が意見書を提出 木質バイオマス発電施設整備について



志賀区長(左)から意見書を受け取る杉岡村長

「蕨平地区仮設焼却施設」の跡地を活用する木質バイオマス施設事業計画について、4月12日、蕨平行政区から村に対して意見書が提出されました。志賀三男区長が杉岡村長に意見書を手渡し、3月の行政区総会において事業実施が了承されたこと、については安全の確保・情報公開・環境美化などを継続的に求めること、地域振興を要望することなど、住民の意見を伝えました。杉岡村長は「意見を受け止め、今後も地区との対話を継続していく」と約束し意見書を受け取りました。

新しい春を迎えて

いいたて希望の里学園で2回目の入学式

いいたて希望の里学園



山田校長先生から教科書を受け取る新入生代表児童

昨年4月に開校した「いいたて希望の里学園」。今年度は男子2名、女子4名の計6名が入学しました。入学式は4月6日に行われ、遠藤哲教育長が、「本をたくさん読んでほしい。教科書はお友達です」と告示を述べました。また、在校生代表・9年生の庄司大夢さんが「期待と同じくらい不安があると思う。在校生を頼り、記憶に残る大切な9年間にしてください」と歓迎の言葉を述べました。新1年生達は、来賓の言葉に大きな返事で答える様子を見せ、可愛らしくも頼もしい後ろ姿で、とても立派でした。

また、新7年生は後期課程へと進級し、教科ごとに異なる先生の授業や、部活動が始まります。村の宝である子ども達の成長が、今年も楽しみです。

いいたてっ子をよろしくお願ひします

転入教職員披露式



前列左から 長谷川文先生、根本奈於先生、星郁美先生、山田徹校長、亀田邦弘副校長、菅野貴恵子先生、宍戸愛美先生
後列左から 小暮俊和さん（ICT支援員）、愛澤卓見主査、山内純一先生、上野聡士先生 （当日休み：荒寿子先生、大友千絵先生）

4月2日、いちばん館にて、令和3年度「いいたて希望の里学園転入教職員披露式」が行われました。今年度は、新たに13人の先生方をお迎えしました。

転入された先生方は、「いいたて希望の里学園」での教員生活に向けて決意を述べ、子ども達との生活をとても楽しみに、生き生きと語る表情が見られました。

までいの里のこども園



家族と一緒に式に参加する入園児達

7名の新しいおともだち

4月7日、「までいの里のこども園」で、入園式が行われました。今年度は、0歳児から3歳児、計7名の子ども達が入園し、計54名で新年度をスタートしました。

式では、5歳児クラスの子ども達が元気に園歌を歌い、入園児を迎え入れました。また、来賓からは「本に親しんでほしい」「すこやかにワクワク育ってほしい」などお祝いと励ましの言葉が掛けられました。新たな節目を迎えた子ども達は、これからたくさん学ぶことを喜び、吸収し、成長していきます。その成長を楽しみに見守ってまいりますね。



0歳児 わかば組



1歳児 つぼみ組



3歳児 たいよう組



2歳児 はな組

自衛官募集相談員委嘱式 平成14年から10期目の任務



委嘱式の後、会場で記念撮影が行われました。左から、杉岡村長、三浦さん、岡本本部長、永井所長

4月16日、村役場で、「自衛官募集相談員委嘱式」が行われました。委嘱状を交付されたのは、今回で10期目となる三浦盛さん(小宮)。引き続き自衛官になりたい人とのパイプ役を務めます。式には、自衛隊福島地方協力本部長の岡本良貴さん、相双地域事務所長の永井啓行さん、副所長の清野好厚さんが出席されました。杉岡村長は「自衛隊には震災の時に大変お世話になった。あの時の想いを次世代へ伝えていってほしい」と、岡本本部長は「地域の情報を大いに期待している」と、三浦さんへの期待を述べました。

飯舘村鳥獣被害対策実施隊 サル駆除プロジェクト始動



上/実施隊の編成会議の様子
右円/サル駆除プロジェクト
チームリーダーの委嘱状を交付
される菅野満郎さん(深谷)

4月5日、「飯舘村鳥獣被害対策実施隊」の編成会議が行われました。会議では役員選出が行われ、今年度は隊長に北原経さん(宮内)、副隊長に原田直志さん(深谷)が選ばれ、新しい体制で今年度の活動がスタートしました。

また今年度は、サル駆除プロジェクトチームが始動し、イノシシ以外にサルの駆除に重きを置いて活動していきます。村内で被害の現場などを目撃した際には、無理に近づかず、産業振興課農政第二係☎0244-42-1625までご連絡ください。

大成JV(JV = 共同企業体)が 村内の見守りに協力します



上飯樋地区にある事務所にて。業務用のライトバン6台に青いパトライトをつけ見守りに協力します

仮置き場の復旧工事や長泥地区の除染作業など環境省発注の工事を行う「大成・あおみ特定建設工事共同企業体」が、南相馬警察署の委嘱を受けて村内パトロールに協力します。同JVは、全村避難中も、見守り隊と共にパトロールに協力していましたが、今回改めてパトロール隊を結成。村内を移動する際、倒木や落石、住宅の異常などがないか注意し、発見した場合には役場や警察に通報を行います。現場所長の清水義男さんは「地域に貢献していきたい」と話していました。

更生保護女性会が総会を開催 持続的な取り組みを確認

〈更生保護〉犯罪や非行の罪を償った人が、社会の一員として立ち直るための支援を行う制度や活動のこと。



総会に招かれあいさつする杉岡村長。「ふるさとで育まれた人間愛だと思う。村としても協力したい」

4月6日、「飯舘村更生保護女性会」が、「いいいてスポーツ公園」管理棟で、令和3年度の総会を行いました。同会は「一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会」を目指すボランティア団体。青少年の健全な育成に努め、また、過ちに陥った人の更生を支える活動に取り組みます。「コロナ禍で行動が制限される中ですが、対策をしながら、励まし合って、できる範囲で活動していきましょう」と申し合わせ、地域貢献への思いを共有しました。

福島市へ 村の保健師を派遣 福島市役所で辞令交付式



左から、中川昭生福島市保健所長、木幡浩福島市長、斎藤愛子さん、石井秀徳村健康福祉課長

4月12日、福島市役所で、派遣職員辞令交付式が行われました。今回村から派遣されたのは、健康福祉課健康係の保健師・斎藤愛子さん。4月12日から7月31日までの約3か月間、福島市保健所での勤務となります。式の前には、杉岡村長も交えて、木幡浩福島市長らとの面会の時間が設けられ、震災後からお世話になっている福島市との会話が弾んでいました。木幡市長は「現場の皆さんとも交流してほしい」と述べられました。新型コロナウイルスワクチン接種の準備は着々と進められています。

村は、村主催のイベントや村民の皆さんの取り組みを取材し、広報紙・ホームページ等に掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、村づくり推進課企画係までご連絡ください。

皆さんの声をお聞かせください

「広報いいいて」あてに声をお寄せください。右の専用ハガキに、感想、ご意見、耳寄り情報、近況報告、イラストなど、自由に書いて送ってください。ハガキは線に沿って切り取り、63円切手を貼ってご利用ください。※普通ハガキでも受け付けます。

郵便はがき

9601892

恐れ入りますが63円切手を貼って投函してください

福島県相馬郡飯舘村中沢字中沢580番地1

飯舘村役場 村づくり推進課企画係

広報いいいて 行



その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#23



マキバノハナゾノの春を
彩る一面の水仙

4月中旬、大久保金一さんが季節の花々を咲かせる「マキバノハナゾノ」で、数十万株の水仙が見頃を迎えていました。大久保さんは、「マキバノハナゾノ」と名付けた自宅の周りの庭で、さまざまな植物を育てていて、庭を通じて交流する人たちから、いつしか「花仙人」と呼ばれるようになりました。花の季節には、その庭を一般にも公開し、訪れる人たちとの交流を続



玄関の小窓。来客が気になる金一さんの愛猫たち



水辺にはミズバショウの群生も



満開の水仙が彩る「マキバノハナゾノ」で

大久保 金一 さん (小宮)

けています。春には水仙をはじめ、多様な品種の桜やカタクリが咲き、夏にはアヤマや大輪のバラ、秋にはコルチカムと、マキバノハナゾノは季節を追って景色を変えていきます。そして、一つひとつの植物に、金一さんとの物語があります。構想から長い年月をかけて花園を作り続けてきた金一さん。「ようやく8割くらいできたかな」と笑顔ではにかみました。

澄美れ会×協力隊の舞い



藤花新流「澄美れ会」の舞踊に、地域おこし協力隊らが挑戦。4月10日は、高野澄子さん(前田・八和木)から、村内のイベントで披露予定の2曲の振り付けを習いました。「川俣町などで会のお稽古をしてきましたが、ようやく自宅の稽古場で」と高野さんも笑顔。この日は村のお試し住宅に滞在していた2人も参加しました。

道の駅で村の手打ち蕎麦を

レストランの食事提供は午前11時から午後3時まで(カフェメニューは午前9時30分から午後5時)。水曜定休。



写真はかきあげそば(700円)。せいろそば、かけそば、山菜そばもあります。

「いいたて村の道の駅までい館」に登場した蕎麦メニュー各種が人気です。蕎麦は、村内産「前田明神そば」の蕎麦粉を使用した二八蕎麦。「いいたて愚真会」の有志が「いいたてまでい愚真会」として、蕎麦打ちを担当しています。手打ちのため、数量限定での提供。ふるさとの蕎麦が味わえます。

交流センター「ふれ愛館」だより



おすすめ図書を紹介しします



著/法林岳之・清水理史・できるシリーズ編集部
発行/インプレスブックス

コロナ禍で人との接触が制限される中、テレワークやウェブ会議が日常的に活用されるようになってきました。そこで交流センターでは、ウェブ会議サービス「ズーム」の活用方法を紹介する本を購入しました。この本は、初めて「ズーム」を利用する人にも分かりやすい入門書で、必要な機器の設定やセキュリティ対策、ウェブ会議をスムーズに進めるノウハウなどを紹介しています。

●お願い●
交流センターから本を借りている方で、返却されていない方は、早めの返却をお願いします。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間
平日：午前8時30分から午後5時

広報いいたて
専用八ガキ!

お送りいただいたご意見や情報は「広報いいたて」の紙面づくりの参考にさせていただきます。また、いただいた情報を元に取材をさせていただきますので、お手数ですが、お名前や連絡先のご記入もお願いいたします。

広報に関するご質問は、お便りやイラストなどご自由に。

お名前 ※必須
ご住所 ※必須
電話番号 ※必須
メールアドレス

入札結果をお知らせします

入札日／3月30日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
いいたてパークゴルフ場芝管理業務	3,960,000円	秋元造園(株)	令和4年3月下旬
飯館村放射線相談支援業務	16,115,000円	飯館村社会福祉協議会	令和4年3月下旬
飯館村サポートセンター運営業務	43,703,000円	飯館村社会福祉協議会	令和4年3月下旬
生活支援ワゴン運行業務	7,658,200円	飯館村社会福祉協議会	令和4年3月下旬
村外在宅サービス等送迎業務	46,200,000円	(株)トーネット	令和4年3月下旬
食品放射性物質測定業務委託	29,150,000円	(株)トーネット	令和4年3月下旬
村民コミュニティ構築支援ICT支援事業 アプリケーション運用支援業務	21,186,000円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
村民コミュニティ構築支援ICT支援事業 アプリケーション保守業務	10,141,560円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
自治体情報セキュリティ強化対策保守業務	1,444,300円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
庁内電算業務	6,270,000円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
統合型GIS運用支援保守業務	2,354,000円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
税務LANシステム保守支援業務	1,463,000円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
飯館村簡易水道事業水道料金システム業務委託	1,870,000円	(株)福島中央計算センター	令和4年3月下旬
地域インターネット保守業務	1,188,000円	東日本電信電話(株)宮城事業部福島支店	令和4年3月下旬
飯館村光ケーブル支障移転工事 前田字古今明地内	2,530,000円	東日本電信電話(株)宮城事業部福島支店	令和4年3月下旬
飯館村光ケーブル支障移転工事 前田字広平地内	2,420,000円	東日本電信電話(株)宮城事業部福島支店	令和4年3月下旬
ホームページ運用管理業務	2,442,000円	(株)インフォメーション・ネットワーク福島	令和4年3月下旬
広報いいたて作成支援業務及び 飯館村公式ウェブサイト更新業務	7,040,000円	(株)SAGA DESIGN SEEDS いいたて営業所	令和4年3月下旬
飯館村防犯カメラ運用管理事業	15,793,800円	セコム(株)	令和4年3月下旬
一般廃棄物収集運搬・処理・処分事業	13,640,000円	マルキン産業	令和4年3月下旬
乳幼児体動センサー購入	1,168,200円	ALSOK福島(株)	令和3年4月中旬
義務教育学校英語活動支援業務 (ALT)	5,610,000円	(株)インタラック北日本	令和4年3月下旬
福島県営農再開支援事業 深谷南手農地等維持管理業務	4,070,000円	(一財)飯館村振興公社	令和4年3月下旬
村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、 除草剤散布作業業務 (1)	26,730,000円	(有)渡建工業	令和4年3月中旬
村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、 除草剤散布作業業務 (2)	29,480,000円	(株)英工務店	令和4年3月中旬
村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、 除草剤散布作業業務 (3)	33,220,000円	(有)福相建設	令和4年3月中旬
村道点検、草刈り、側溝土砂上げ、支障木伐採、 除草剤散布作業業務 (4)	25,630,000円	濱田建設工業(株)	令和4年3月中旬



●新型コロナウイルス● ワクチン接種について

高齢者施設から接種をスタート 65歳以上の方に個別通知を発送

※4月20日現在の情報です。

新型コロナウイルスのワクチン接種が、対象の優先順に従い進められています。村内及び福島市に住む村民は、福島市と結んだ協定に基づき、福島市内の医療機関または福島市内の集団接種会場でワクチン接種を受けることができます。また、高齢者施設の先行接種として、「いいたてホーム」では、4月27・28日に接種が行われました。

接種場所・個別通知の時期について

	接種場所	個別通知時期 (65歳以上の方)	個別通知時期 (64歳以下の方)
飯館村内にお住まいの方 福島市にお住まいの方	福島市内の ・医療機関 ・集団接種会場	4月23日に 通知を発送	接種日程が 決まり次第通知
その他の市町村にお住まいの方	現在お住いの市町村の指定場所	4月2日に通知を発送 3月22日時点の避難 住民届の情報で通知	接種日程が 決まり次第通知

※接種対象の優先順位は、
①医療従事者・救急隊員等
②65歳以上の方③基礎疾患をお持ちの方④高齢者施設等従事者⑤60歳以上64歳以下の方⑥それ以外(16歳以上)の方の順です。
※「65歳以上の方」は「昭和32年4月1日以前に生まれた方」です。
※16歳未満は現段階では対象外となっています。

問 飯館村相談窓口(健康福祉課内) ☎ 0244-26-7911 (平日の午前9時から午後4時)

●厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター ☎ 0120-761-770 (午前9時～午後9時※土日・祝日含む)

4月の村の動きと主なできごと

- 1日・飯館村辞令交付式(村議場)
- ・飯館村消防団辞令交付式(交流センター「ふれ愛館」)
- 2日・転入教職員披露式(着任式)(いちばん館)
- 5日・飯館村鳥獣被害対策実施隊 委嘱状交付式(村役場)
- 6日・いいたて希望の里学園 入学式(いいたて希望の里学園)
- ・飯館村更生保護女性会 総会(フーツ公園管理棟会議室)
- 7日・までのりの里のこども園 入園式(までのりの里のこども園)
- 12日・新型コロナワクチン接種事業に係る職員派遣の辞令交付式(福島市役所)
- ・令和3年度第1回飯館村行政区長・副区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 15日・飯館村ライオンセンター完成引渡式(深谷地区現地)
- 16日・令和3年度自衛官募集相談員委嘱式(村役場)
- ・民生児童委員協議会 総会(交流センター「ふれ愛館」)
- 18日・10区農地中間管理事業説明会(交流センター「ふれ愛館」)
- 23日・農業委員会研修会(長泥地区・ライオンセンター他)
- ・第4回農業委員会定例会(村役場)
- ・乳幼児健康診査(いちばん館)
- ・定例教育委員会(村役場)
- 24日・東北中央自動車道(霊山IC)伊達桑折IC 開通式(伊達桑折IC)
- 27日・飯館村議会第2回臨時会(村議場)
- 27日・東北中央自動車道(霊山IC)伊達桑折IC 開通式(伊達桑折IC)
- 27日・いいたてホーム入居者 新型コロナワクチン接種(いいたてホーム)
- 28日・までのりの里のこども園 園旗贈呈式(までのりの里のこども園)

「ふるさと資源」発掘図鑑

掲載についてお問い合わせは村づくり推進課企画係 ☎0244-42-1613までお気軽に。

お気に入りの景色、ふるさとを感じるモノ、自分が打ち込んでいるコトなど、あなたの「推し」を広報紙に掲載してみませんか。



多田直正さん(宮内)

庭作りは全くの趣味。じっとしてられない性格なんです。水仙の株はコツコツ増やしてきました。来年、さ来年と見応えが増すんじゃないかな〜。



しだれ桜、モモ、レンギョウ、ユキヤナギ、ボケ、そして隅々まで植えられた無数の水仙…色とりどりの花が咲き乱れる光景は圧巻。村の方から「小さな花見山がある」と情報をいただきお邪魔しました。

※として行者ニンニクもあります!

4月16日、福島大学食農学類3年生と先生方合わせて17人が授業の一環で役場を訪れ、ふるさと住民票を受け取りました。杉岡村長と久々の再会だった学生もあり、会話を弾ませていました。



ふるさと住民票を手にする福大食農学類3年生と杉岡村長

飯舘村の特産品を作ってみたり、村に多くの方が訪れるよう、少しでも力になりたい。農家の方たちと一緒に今後活動していきたいです。



高田優花さん(福島大学3年生)

地域おこし協力隊 いたてDIARY

「飯舘村を物づくりで発信したい」そんな想いを掲げて走り抜けた令和2年度も終了。

ようこそ令和3年度。今年度も、飯舘のウサインボルトと呼ばれるよう爆走したいと思っています!!!!!!どうぞ宜しくお願いします。

さて、今年度の爆走第1段として5月2日に旧草野幼稚園園庭で物づくりのイベント「山の向こうからvol.3」を開催。3回目の開催となる今回は、遠くは秋田、茨城県から出展して下さいます。コロナが落ち着かず、是非来て下さいとは言えない世の中ですが、安心して楽しんで頂けるよう感染対策を十分に行い開催いたします。会場での消毒、検温、感染経路特定用紙の記入にご協力を頂き、目視で安全が確認できるように来場者様全員にリストバンドを付けて頂きます。

イベントの詳細、出展者紹介はインスタグラムに掲載中です→@yamanomukoukara



4月20日現在の情報です。開催後に広報紙が届いた方は申し訳ありません。次回開催をお楽しみに!

今月のライター

飯舘村地域おこし協力隊 二瓶 麻美さん

イベントに向けて、飯舘復興の桜、飯舘で採れた玉ねぎやナツハゼなどの飯舘に因んだ物で草木染めをしています。私が感じた「飯舘村の今」をイベント会場で表現したいと思っています。



佐野志帆さんの

ラオス通信。

vol.9

ラオスの仏教文化

① 托鉢・出家

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国?佐野さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ!



佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。



朝5時の托鉢の様子



お坊さんへ渡す桶の中身

ラオスに住んでいると、仏教の文化を身近に感じます。それは、ラオスが仏教国であり、国民のほとんどが仏教徒であるためです。日常的な仏教のついでに「托鉢」があります。これは、早朝裸足で歩いてくるお坊さんにお金やお菓子、ご飯、水などを施す習慣のことです。この文化の根底には、人になにかをやってあげたり、物をあげると徳が得られるという「喜捨」という仏教の考え方があります。ちなみに、ラオス人の男性は人生で1回は出家をします。これは、出家をしないと二人前とは認められないためです。出家をするタイミングは決まっていますが、3〜7日でフランクに出家する人も多く、ラオス人が出家する理由は概ね以下の通りです。① 悟るため② 親族(特に両親)が亡くなったとき③ 人生に行き詰まったとき④ 勉強するため。4つ目の「勉強するため」に「出家する」というのは、お坊さんになると生活費・学費が無償で教育を受けられるためです。義務教育のうちはお寺の中にお坊さんのための学校があります。通常の学校の教科+仏教に関して勉強することができます。また、高校と大学の学費も無料で受けることができます。このように、仏教文化である出家が教育を保証しているという側面もあるのです。

次回はラオスの仏教文化②を紹介いたします!

ひとのうごき

(令和3年3月31日現在)

人口	今月(前月比)
♂	2582人(-19)
♀	2586人(-19)
計	5168人(-38)
世帯数	1830戸(-2)

3月1日~31日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	2人
転出	31人
出生	0人
死亡	9人
(住民基本台帳人口)	

(3月21日から4月15日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

前号で、男女合計数について1832人とありましたが、正しくは5206人でした。お詫びして訂正いたします。



おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 一郎	77	宮内
鈴木 忠	79	小宮
清水 正三	78	蕨平
熊谷 テル子	94	飯樋町
目黒 淳子	79	上飯樋
佐藤 千ヨノ	96	宮内
菅野 貢明	71	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます

<人事異動のお知らせ>

4月12日付 福島市保健所出向 斎藤愛子(健康福祉課健康係)

三寒四温。これまでになく駆け足で訪れた春。根雪をとかす大地の温かさに感謝しつつ、心地よそそ風と木々の新緑に、これからのふるさとを重ねあわせませす。(杉岡村長)

ろうそく作家・大槻美友さんのアトリエがオープンします

上飯樋地区の住宅を借り受け、手をかけて居心地のよいアトリエに改装しました。ろうそく作家・大槻美友さんの「工房マートル」飯館工房が5月8日にオープンします。



地元産のドライフラワーを使って物語性をたたえた表情豊かなろうそくを制作。「福島の作家として福島のよさも発信したい」

昨年村に移住し、飯館村地域おこし協力隊としても活躍するろうそく作家の大槻さん。念願のアトリエは「村の人にもふらりと気軽に来てもらえる場所にした」と話します。「古民家をずっと探していて、すごくいいタイミングでこの家に巡り会って」。大家さんと相談しながら、丁寧に改装。「夢が二つ、かないました」。ここでは、ろうそくの制作やワークショップを行う他、ギャラリースペースで年に数回の企画展も開催したいと考えています。



玄関を入ると建物の元の姿も活かした温もりある空間が広がります



飯館の花のキャンドル

工房マートル 飯館工房

飯館村飯樋字原 361
午前10時から午後4時
当初は金・土曜日営業
※他に臨時営業日もあり



〈編集後記〉

●今年度から広報担当となりました、菅野(すげの)と申します。昨年入庁し、交流センターで勤務してました。ふくしま駅伝や、10大ニュース発表の動画等で見ただことあるかも！と気づいてくれた方がいらつしゃるととても嬉しいです。カメラの使い方を教わる場所から始まり、至らない点ばかりではあります。少しづつ新しくなっていく広報いい

たてをどうか温かく見守っていただけたいと思います。取材を通して村民の方々とたくさん関わっていきたいと思っていますので、広報に載せたい！取材に来て！など、情報提供、ドシドシお待ちしております。よろしくお願いたします。(菅野)

●広報にも新しい風が！皆で力を合わせて、身近で役に立つ、楽しい広報紙になるようコツコツ取り組んでいきたいです。(星)

Native Speakers 第1回

ネイティス・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち

ぼうばい日だな
そろそろはだつか



その意味は…
スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

